

(別添2)

【本巢市】

ネットワーク整備計画

1. 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合(%)

本巢市の学校数：小学校7校、中学校3校、義務教育学校1校

- ・必要なネットワーク速度が確保できている学校数：8校(72.7%)
- ・必要なネットワーク速度が確保できていない学校数：3校(27.3%)

2. 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

(1) ネットワークアセスメントによる課題特定のスケジュール

令和6年度にネットワークアセスメントを実施済みで、令和7年度にアセスメント結果を受けたうえでの将来の通信量を想定したネットワーク環境の強靱化事業に着手

(2) ネットワークアセスメントを踏まえた改善スケジュール

- ・集約拠点を経由する学校の中で、時間帯によって必要なネットワーク速度が確保できていない学校がある。よって、その内2校を、令和7年8月までに、ローカルブレイクアウト方式に変更することで集約拠点を経由する学校の負荷を減らし、他の学校も含めて必要なネットワーク速度を確保する。
- ・令和7年8月までに、集約拠点到スイッチングハブを導入し、回線を冗長化
- ・令和7年9月から通信速度を疎外しないIMDMによるフィルタリングサービスを第2期の端末更新に伴い利用開始

(3) ネットワークアセスメントの実施等により、既に解決すべき課題が明らかになっている場合には、当該課題の解決の方法と実施スケジュール

令和6年度に実施したネットワークアセスメントにおいて、ローカルブレイクアウトを行っていない学校がネットワーク通信で経由する集約拠点到負荷がかかっていることが判明したため、負荷を減少させるために新たに2校をローカルブレイクアウト方式に変更します。また集約拠点到の空きポートを増やす目的でスイッチングハブの導入並びに回線の冗長化を行います。

次にWEBフィルタリングサービスが通信速度を減少させる要因になっていることが判明したため、第2期の端末更新を行う令和7年9月から、通信速度を疎外しないIMDMによるフィルタリングサービスの利用を開始し、通信速度の安定を測ります。

それ以降は改めて新しいネットワーク環境での通信速度について評価・分析を行い、その結果を踏まえて今後のICT教育を見据えた通信量を想定したネットワーク環境のさらなる更新等について検討します。